

【4階西病棟】 7月の合同病棟指導を行いました。

回復期病棟の4階西病棟では昨年度から毎月合同病棟指導を行っています。

合同病棟指導とは？

リハビリスタッフから看護師などに対して、患者の自立度向上へ向けた介助方法の動作指導のことを言います。移乗動作やトイレ動作などについて行います。



リハビリスタッフがリハビリ時間に行っている介助方法を伝達しています。
(ケアの質の向上)



介助者がどこを支えれば安全かセラピストが指導しています。
(患者の安全確保)

当院では、定期的に多職種に向けて介助指導を行っています。多職種が同じ視点で評価・介助を行うことで、患者の自立支援を最大化する体制を整えています。また、多職種が同じ基準でケアを実践することで、ケアの質の向上を図っています。